

平成26年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成26年7月31日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 システムソフト
 コード番号 7527 URL <http://www.systemsoft.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉尾 春樹
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理本部長 (氏名) 緒方 友一
 四半期報告書提出予定日 平成26年8月4日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

TEL 092-732-1515

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年9月期第3四半期の業績(平成25年10月1日～平成26年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年9月期第3四半期	2,229	—	371	—	362	—	403	—
25年9月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年9月期第3四半期	6.03	5.96
25年9月期第3四半期	—	—

(注) 平成25年9月期第3四半期の経営成績につきましては、四半期連結財務諸表を作成しているため、記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年9月期第3四半期	7,077	6,627	92.3	97.07
25年9月期	6,611	6,213	91.4	90.64

(参考) 自己資本 26年9月期第3四半期 6,535百万円 25年9月期 6,046百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
26年9月期	—	0.00	—	—	—
26年9月期(予想)	—	—	—	2.00	2.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年9月期の業績予想(平成25年10月1日～平成26年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,225	26.0	575	67.3	570	69.8	536	89.4	8.01

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年9月期3Q	67,354,160 株	25年9月期	66,733,760 株
26年9月期3Q	31,615 株	25年9月期	31,500 株
26年9月期3Q	66,920,368 株	25年9月期3Q	56,802,110 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続を実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、【添付資料】2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第3四半期累計期間	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当四半期会計期間の末日現在において当社が判断したものであります。

なお、前第3四半期累計期間は四半期連結財務諸表を作成し、四半期財務諸表を作成していないため、前年同四半期との比較分析は行っておりません。

当第3四半期累計期間(平成25年10月1日～平成26年6月30日)におけるわが国の経済は、政府主導の経済政策や金融緩和により、企業収益や雇用情勢の改善、設備投資の持ち直しなどが見られ、回復基調が継続しております。

当社が属する情報サービス産業におきましては、企業の情報関連投資につきましても増加傾向が継続しております。また、スマートフォンやタブレット型端末がユーザーへ更に広がっていることから、これらに対応するシステム投資も好調に推移いたしました。

このような環境下、当社は、一層の企業価値向上のため、これまでのシステム開発を中心とした事業分野に加え、前期においてパワーテクノロジー株式会社の吸収合併により新たに開始したWebマーケティング事業の拡大に注力いたしました。その一環といたしまして、平成25年10月1日付で連結子会社 株式会社アップトゥーミーを吸収合併し、同社のモバイルマーケティング事業をWebマーケティング事業に統合し、両事業のより効率的な連携体制を構築いたしました。

また、平成26年2月には、システム開発事業におきまして、当社が得意とする不動産分野のノウハウを活かし、全国賃貸管理ビジネス協会グループの事業子会社である全管協ポータルサイト株式会社との取引を開始し、新しい賃貸物件ポータルサイトの開発・運用を行っております。同グループは、賃貸管理業に携わる会員企業の最大級のビジネス団体であります。

加えて、システム開発事業の新規分野として、平成26年6月にサービスマネジメント部を新設し、ITサービスマネジメントやITガバナンスの支援を通じて、お客さまの情報部門での業務運用品質の向上、IT活用及び生産性の向上を推進する事業を開始いたしました。この事業のスピーディな立ち上げと充実したソリューションの提供を目的として、様々な企業に対してIT管理サービスの提供実績を持ち、ITサービスマネジメント分野におけるグローバルリーダーであるBMC Software, Inc.の日本法人と業務提携を行いました。

なお、このような新たな事業展開と併せ、事業体制におきましても強化と効率化を図り、平成26年6月1日付で本店を福岡市中央区より東京都千代田区に移転いたしました。

これらの結果、当第3四半期累計期間における売上高は2,229百万円、営業利益は371百万円、経常利益は362百万円となりました。また、株式会社アップトゥーミーとの合併に伴う抱合せ株式消滅差益61百万円、投資有価証券売却益187百万円等の特別利益を255百万円計上した一方、厚生年金基金脱退拠出金79百万円、事務所移転費用46百万円等の特別損失を168百万円計上したことにより、四半期純利益は403百万円となりました。

セグメント毎の業績は、次のとおりであります。

なお、システム開発事業及び賃貸不動産情報サイト運営事業につきましては、参考として前年同四半期の業績との比較を記載しております。

① システム開発事業

大手企業を中心としたお客さまに対し、長年にわたってソリューションプロダクト及びソリューションサービスを提供しております。当第3四半期累計期間におきましては、お客さまの情報関連投資は増加傾向にあり、不動産、通信関連、生損保関連など各分野におきまして順調に案件の受注がすすみました。

事業全体では売上高は937百万円(前年同期比194百万円増)、営業利益は114百万円(前年同期比35百万円増)となりました。

② 賃貸不動産情報サイト運営事業

賃貸不動産情報サイト「APAMAN」につきましては、当第3四半期累計期間においてサイトの立ち上げより2年を経過し、お客さまとの契約の更新時期を迎えました。なお、更新に際し、お客さまからサイトのリニューアル等の要望が出てきていることを踏まえ、現行サイトでの掲載料の見直しを行ったことにより、この事業の売上高は115百万円（前年同期比72百万円減）、営業利益は20百万円（前年同期比43百万円減）となっております。

③ Webマーケティング事業

前期におけるパワーテクノロジー株式会社との合併により、同社の事業を継承し、大手企業を中心としたWebマーケティング事業を行っております。また、平成25年10月1日付で連結子会社 株式会社アップトゥーミーを吸収合併し、同社のモバイルマーケティング事業を当事業に統合いたしました。

当第3四半期累計期間におきましては、引き続き、既存のお客さまへの付加価値の高いサービスの提供と、本店移転による首都圏を中心とした新規顧客開拓と取引規模の拡大に努めてまいりました。

以上の結果、この事業の売上高は1,176百万円、営業利益は402百万円となっております。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期会計期間末における資産合計は、前事業年度末に比べ465百万円増加し、7,077百万円となりました。これは主に、合併により関係会社株式304百万円が減少した一方で、合併による受入や売上債権の回収により現金及び預金が890百万円増加したこと等によるものであります。

負債合計は、前事業年度末に比べ52百万円増加し、450百万円となりました。これは主に、買掛金や賞与引当金が減少した一方で、その他の流動負債が48百万円増加したことや、本社移転に伴い資産除去債務が12百万円増加したこと等によるものであります。

純資産合計は、前事業年度末に比べ413百万円増加し、6,627百万円となりました。これは主に、四半期純利益による利益剰余金の増加403百万円によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、平成26年4月30日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

なお、業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績は、様々な要因により予想数値と異なる場合があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表
(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年9月30日)	当第3四半期会計期間 (平成26年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,307,416	2,198,132
受取手形及び売掛金	553,989	431,494
仕掛品	9,968	31,985
繰延税金資産	117,020	117,760
その他	73,038	78,785
流動資産合計	2,061,432	2,858,159
固定資産		
有形固定資産	59,539	125,522
無形固定資産		
のれん	3,053,818	2,988,170
その他	62,640	49,712
無形固定資産合計	3,116,458	3,037,882
投資その他の資産		
長期前払費用	874,510	795,010
その他	499,410	260,640
投資その他の資産合計	1,373,921	1,055,651
固定資産合計	4,549,919	4,219,057
資産合計	6,611,351	7,077,216
負債の部		
流動負債		
買掛金	83,714	67,858
賞与引当金	35,790	19,426
その他	105,190	153,687
流動負債合計	224,695	240,972
固定負債		
繰延税金負債	8,019	9,097
退職給付引当金	159,717	161,539
資産除去債務	4,494	16,803
その他	945	21,778
固定負債合計	173,176	209,219
負債合計	397,872	450,191

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年9月30日)	当第3四半期会計期間 (平成26年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,413,491	1,459,308
資本剰余金	4,169,693	4,215,510
利益剰余金	459,015	862,211
自己株式	△8,023	△8,035
株主資本合計	6,034,177	6,528,995
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	11,840	6,245
評価・換算差額等合計	11,840	6,245
新株予約権	167,461	91,784
純資産合計	6,213,479	6,627,025
負債純資産合計	6,611,351	7,077,216

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	当第3四半期累計期間 (自平成25年10月1日 至平成26年6月30日)
売上高	2,229,298
売上原価	1,267,537
売上総利益	961,760
販売費及び一般管理費	590,701
営業利益	371,059
営業外収益	
受取利息	1,526
受取配当金	312
負ののれん償却額	945
その他	9,908
営業外収益合計	12,692
営業外費用	
支払手数料	8,400
地代家賃	7,284
その他	5,973
営業外費用合計	21,658
経常利益	362,093
特別利益	
抱合せ株式消滅差益	61,592
投資有価証券売却益	187,575
新株予約権戻入益	6,814
特別利益合計	255,982
特別損失	
合併関連費用	367
固定資産除却損	21,450
事務所移転費用	46,496
厚生年金基金脱退拠出金	79,689
その他	20,726
特別損失合計	168,729
税引前四半期純利益	449,346
法人税、住民税及び事業税	42,099
法人税等調整額	4,050
法人税等合計	46,150
四半期純利益	403,196

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

セグメント情報

当第3四半期累計期間(自平成25年10月1日 至 平成26年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	システム 開発事業	賃貸不動産情報 サイト運営事業	Webマーケ ティング事業	合計
売上高				
外部顧客への売上高	937,577	115,500	1,176,221	2,229,298
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—
計	937,577	115,500	1,176,221	2,229,298
セグメント利益	114,372	20,240	402,982	537,595

2 報告セグメントの変更等に関する事項

当社は、平成25年10月1日付で、連結子会社であった株式会社アップトゥーミーを吸収合併し、同社が行っていた「モバイルマーケティング事業」を当社の「Webマーケティング事業」に統合いたしました。

この結果、前連結会計年度までの4区分を、第1四半期会計期間より「システム開発事業」「賃貸不動産情報サイト運営事業」及び「Webマーケティング事業」の3区分に変更しております。

なお、当第3四半期累計期間においては四半期連結財務諸表を作成していないため、前第3四半期連結累計期間におけるセグメント情報については記載しておりません。

3 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	537,595
のれんの償却額	△132,694
全社費用(注)	△33,841
四半期損益計算書の営業利益	371,059

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

4 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

平成25年10月1日付で連結子会社であった株式会社アップトゥーミーを吸収合併したことに伴い、連結上ののれんを個別財務諸表に引き継いでおります。

なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期累計期間においては67,046千円であります。